

立教188年度

「みおしえ学習会」

「かがやきプログラム」

「にをいがけドリル」

開催の手引き

布教部では立教184年度より、ようぼくの成人を目指した3つのプログラム、「みおしえ学習会」「かがやきプログラム」「にをいがけドリル」を提示しています。

支部活動では、同じ支部内に住むようぼく同士が、談じ合い、たすけ合い、励まし合って、お互いの成人を目指しています。

しかし、支部毎に教会数、ようぼく数、地域の広さなど状況は異なります。それぞれの支部の状況にあったプログラムを選んで活用してください。

地域活動における3つのプログラムの主催、対象は下記の通りです

【主催】…支部（支部合同開催、教区開催も可）

【対象】…ようぼく



みおしえ学習会

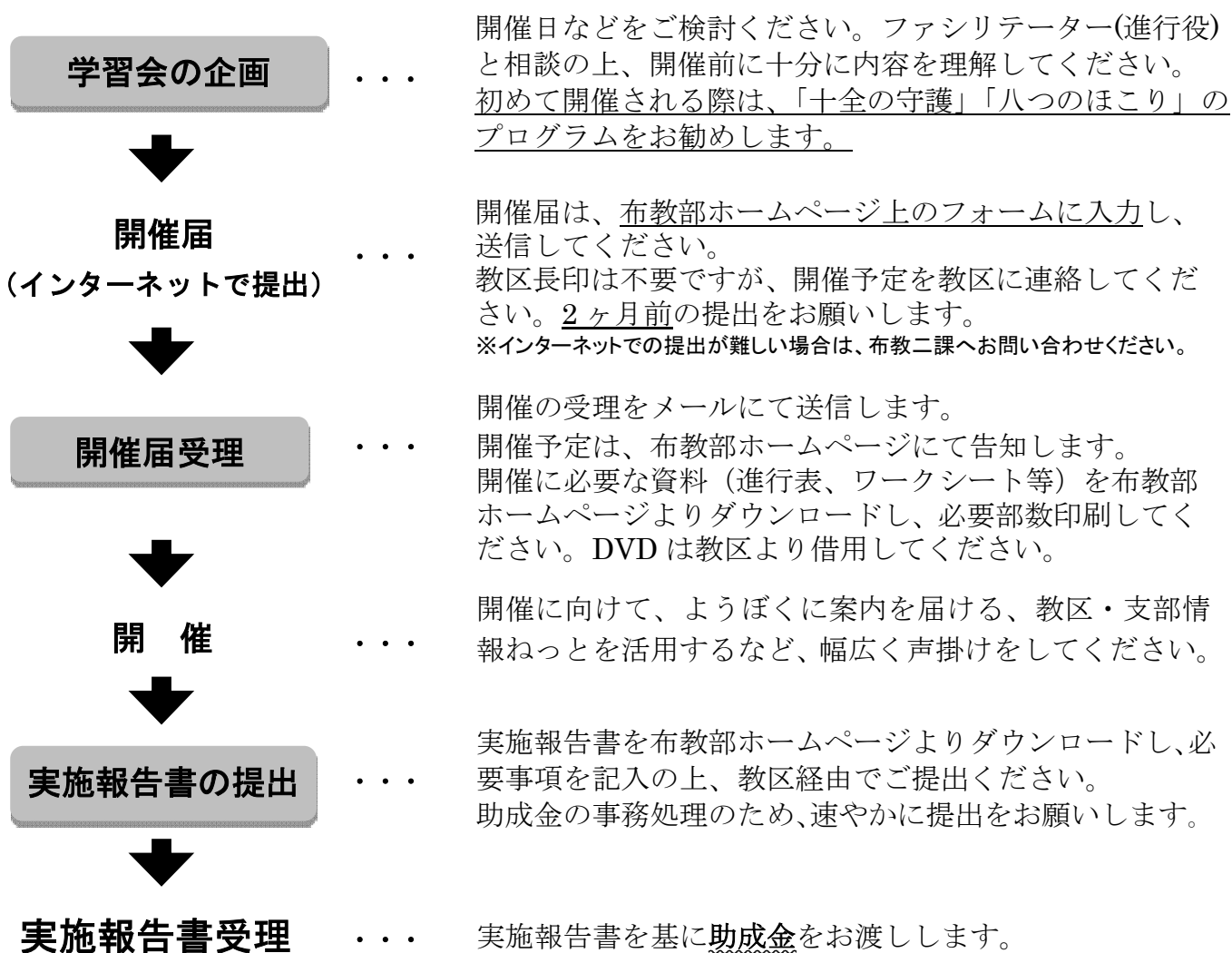
【特徴】

- ワークシート形式で、教えを身近に学びやすくなっている
- それぞれが意見を発表し、同時に他の参加者の考えを聞くことで、新しい発見がある
- 少ないスタッフで開催でき、支部で取り組みやすい

【開催形式】…1 グループ定員概ね 12～24 人とした演習スタイル
多人数の場合、グループを増やしてください

【進行役】…研修会を受講したファシリテーター（1 グループにつき 1 人ずつ）

～開催までの流れ・手続きの方法～



- 助成金 プログラムの普及推進のため、立教 188 年度に限り、1 開催 10,000 円を助成します。（支部で年 2 開催まで助成）

《みおしえ学習会 コース一覧》

※所要時間は【約 100 分】です。
コースは追加していく予定です。

ワークシートに沿って学習し、今後の学びのきっかけにする。

十全の守護

- 親神様のお働きを「身の内」と「世界」とで対比して考えることで、より具体的に十全の守護を感じる。
- 十全の守護に込められた親神様の親心に気づき、喜びのある生活にする。

八つのほこり

- 自分の内面を見つめることで、日頃は気づかない自分の心遣いを考える。
- 自分でも気づかないうちに、「ほこり」を積み、相手にも「ほこり」を積みませていることに気づく。
- 「教えをほうきとして胸の掃除をする」ことの大切さを心に治める。

かしもの・かいもの

- 親神様がこの身体を「それぞれのもの」にせず、「かしもの」とされた意味を知る。
- 「かしもの」の身体を通して人間の心得違いを、お知らせくださっていることを理解する。
- 心を上手に使う、「陽気ぐらし」を実現していくことを学ぶ。

各プログラムの進行表・ワークシート、実施報告書を布教部のホームページからダウンロード（右記QRコード）できます。



《ファシリテーターとは？》

プログラムを進めていく進行役の立場のことで、受講者はファシリテーターの導きのもと、教えを学んでいきます。

本部、または教区開催の本部講師によるファシリテーター研修会受講者が、ファシリテーターをつとめることができます。



かがやきプログラム

【特徴】

- プログラム毎にポイントを絞って教えを学ぶ
- 暮らしの中に活かす「気づき」を促す
- おはなしを聞いて、今まで分からなかった教えを心に治める
- ねりあいでの他の意見を聞くことによって、新たな気づきを得る

【開催形式】…講師、総合司会者を設けた上で、1班6名程度として、各班にねりあい司会者を置く

【講師】…かがやきプログラム教区講師
教区ごとに講師を任命してください。

～開催までの流れ・手続きの方法～

プログラムの企画

… 内容や開催日などをご検討ください。



開催届

(インターネットで提出)

開催届は、布教部ホームページ上のフォームに入力し、送信してください。
… 教区長印は不要ですが、開催予定を教区に連絡してください。講師・スタッフの充分な打ち合わせのため 2ヶ月前の企画・提出をお願いします。
※インターネットでの提出が難しい場合は、布教二課へお問い合わせください。



開催届受理

… かがやきプログラムの受講者用テキストは無料でお渡しします。開催届に必要な部数を入力の上、開催の前月までに「テキスト及び受講者用資料」等を布教二課まで取りにお越しください。
開催予定は、布教部ホームページにて告知します。



開催

… 開催に向けて、ようぼくに案内を届ける、教区・支部情報ねっとを活用するなど、幅広く声掛けをしてください。



実施報告書

(インターネットで提出)

… 報告書は、布教部ホームページ上のフォームに入力の上、送信してください。
※インターネットでの提出が難しい場合は、布教二課へお問い合わせください。

※「かがやきプログラム」開催に助成金はありません。

《かがやきプログラム 一覧》

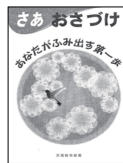
※所要時間は【約2時間】です。

さあ にをいがけ



自分の信仰的な“におい”を感じ取り、教えに基づく生き方を心がけ、“良いにおい”を発散することの大切さを学ぶ。
(テキスト有)

さあ おさづけ



おさづけに対する意識、考え方を見つめなおし、より身近なものにする。そして日頃から積極的におさづけを取り次ぐことの大切さを学ぶ。(テキスト有)

八つのほこり



教祖のお教え下さる“ほこり”の心づかいについて学び、日頃から心の掃除を心掛けることを目指す。(テキスト有)

さあ ひのきしん



身体は親神様からのかりものであることを理解し、いつでもどこでもひのきしんができる心を育てる。(テキスト有)

ことばづかい



教祖のひながたから、教えに基づく「言葉」のつかいかたを学び、日頃から人を喜ばせ、勇ませる良い言葉がけができるようになる。(テキスト有)

朝起き・正直・働き



教祖のひながたから、「朝起き・正直・働き」の意味合いを学び、自分の生活態度をふりかえって、教えに根ざした生活へと切り替えていく。(テキスト有)

感謝・慎み・たすけあい



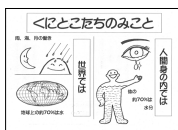
陽気ぐらしのキーワード「感謝・慎み・たすけあい」をもとに、お道の信仰の大切なかどめを学び、人に元気と喜びを与えられるなるほどの人を目指す。(テキスト有)

すっきり解決！不足の心



社会ではストレスが原因で“うつ病”などの心の病が増えている。教祖のご逸話を通して、不足の心を喜びの心に変えるポイントを学んでいく。(テキスト有)

十全の守護～幸せの神名を唱えよう～【※】



十全の守護の神名と説き分けを、筆写や音読等を通して再確認し憶えていく。暮らしの中のご守護に気づく機会を増やすこと、ご守護にお礼できる習慣づくりを目指す。(塗り絵素材有)

身の内に学ぶ～十全の守護を感じながら～【※】



身体の中に働く親神様の働きを感じとる。また身の内のご守護から、親神様の思いに沿った心の使い方を学ぶ。(テキスト有)

さあ おつとめ～一手一つ～【※】



それぞれが違った役割でつとめるおつとめ。心をどこに向け、何に合わせるのか。おつとめを一手一つに「合わせる」という視点から考えていく。(演習用DVD有)

おつとめ いのり～親神様を感じながら～【※】

人の幸せを願い、祈ることができることを知り、おつとめの実行を促し、人のために祈ることの素晴らしさを学んでいく。
(テキストはありません)

各プログラムの進行表を布教部のホームページからダウンロード(右記QRコード)できます。

【※】「十全の守護」「おつとめ」に関するプログラムは各2種類あります。お間違えのないようお願いします。



にをいがけドリル

【特徴】

「にをいがけドリル」は、戸別訪問によるにをいがけに工夫を加え、にをいがけに出やすくするための、また、継続していくための取り組みです。熱意や意欲はあるがどうしたらいいか戸惑っていたり、一人では心細いと思って実動できていない人は少なくありません。にをいがけに出る前に抱く不安や心配を一人で解消することは難しいですが、にをいがけドリルによって、それらが安心や勇みへと変わっていきます。

【開催形式】…少人数から、大人数まで開催可能

【進行役】…教区、支部内のにをいがけドリル経験者



～開催までの流れ・手続きの方法～

研修会の企画

- ワークで使用する資料の提供及び頒布をしています。
- …詳しくは布教二課までお問合せください。
- 開催届は不要ですが、開催予定を教区に連絡してください。

開催

- 開催に向けて、ようぼくに案内を届ける、教区・支部情報ねっとを活用するなど、ようぼくに幅広く声掛けをしてください。
- …

実施報告書

(インターネットで提出)

- …開催後は、報告書を布教部ホームページ上のフォームに入力の上、送信してください。
- ※インターネットでの提出が難しい場合は、布教二課へお問い合わせください。

※「にをいがけドリル」開催に助成金はありません。

ドリルの基本構造

※所要時間 2～4 時間、少人数でも実施可能です。

○ウォーミングアップ

心と体をほぐして、にをいがけの緊張と不安を和らげるための時間です。

○訪問の準備

実動に向かう心作りをする時間です。

○実動

戸別訪問によるにをいがけを行う時間です。

○ふりかえり

実動の継続につながる大切な時間です。これによって、経験したことの意味が深められ、自分の課題や次の目標が見つかります。



《にをいがけドリル ワーク例》

チラシを読んで出かけよう・訪問シナリオ作り

チラシを読み、グループで話し合うことによってその内容の理解を深め、訪問先の方に短い言葉で教えを伝える工夫を考えます。また、戸別訪問の様々な場面を示したカードを使い、繰り返し練習します。心にゆとりを持って本番に臨めるようになるでしょう。

行ってみよう戸別訪問(実動)

やってみよう路傍講演(実動)

戸別訪問や路傍講演に出る前に、少しでも不安を解消できるよう、挨拶のことばを工夫したり、伝えたいメッセージのポイントを整理するなど、ロールプレイを繰り返して、自信を持って出掛けるためのプログラム。

インターホンを知ろう

インターホンの実物を使って家の内外双方を体験します。見え方や聞こえ方など、相手に好感が伝わる訪問の仕方を考えます。

相手の話を引き出そう

戸別訪問における話のきっかけとして、相手の話を引き出し、さらに会話を弾ませる方法を学び、練習します。

にをいがけの不安を解消しよう

にをいがけに対して、不安を抱えている人は少なくありません。お互いの不安を出し合って、対処方法を一緒に考えることで、不安解消を目指します。

断りへの対応

訪問先から言われるであろう断り文句を取り上げ、その対応を考えます。

先人に学ぶにをいがけ①②

先人や先輩の思い、取り組みを題材に、これからのにをいがけに活かしていけるよう、布教意欲の向上を図ります。

はなしの引き出しを増やそう

いくつかの教語を取り上げ、その教えのわかりやすい伝え方を共に学びます。

～教区研修会へ本部からのスタッフ派遣について～

下記いずれかの教区研修会を開催する場合、布教部よりスタッフの派遣ができます。派遣については布教二課までお問い合わせください。

- ・「みおしえ学習会」ファシリテーター研修会
- ・「かがやきプログラム」講師研修会（総合司会者、ねりあい司会者含む）
- ・「にをいがけドリル」進行役の研修会

※教区研修会の開催には 20,000 円（1 開催）を助成します。

【布教部布教二課】

〒632-8501 天理市三島町 1 番地 1

TEL (0743)63-2245 (直通)

FAX (0743)63-7578

E-mail ffu2@tenrikyo.or.jp

布教部ホームページ (右記 QR コード)

